

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひと葉（児発）		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 18日 ～ 2025年 1月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 18日 ～ 2025年 1月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 13名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 11日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こども主体の活動やイベントを取り組むことが出来ている	色々な活動や体験を通して経験値をつけることで、やりたいという気持ちを育てられる様にしている。 児童がやりたいことを毎月考える機会を設け、出来るだけ実現できるようにしている。 職員配置も多めに設定することで、個別での対応など柔軟な対応をすることが出来る。	今年度は、文化祭を開催し、その中で子ども達がやりたい企画を考えてもらう機会を持た、次年度はイベントの日の企画（どこに行きたい、何をしたい）というものから、子どもたちと一緒に一から考える機会を予定している。
2	家族支援	保護者や兄弟児が参加できるイベントを通して、保護者同士のつながりを作る。 保護者会の中でグループ相談を取り入れたことで、保護者同士の悩みの共有や共感につながり、その後は家族同士での交流に繋がる様子がみられた。 保護者への連絡ツールとしてラインを活用し、日々の子どもの様子やお知らせなどを送ることが出来た。 その中で、写真や動画も添付することでより伝わりやすくなるように工夫をしている。	グループ相談に関しては、とても好評であったので今後も継続していきたい。 また、土曜日の家族と一緒に参加型のイベントに関しては、普段の土曜日の受け入れ時間よりも短時間になることがあり、参加が難しいとのこえもあったので、受け入れ時間の検討や、今までよりも早めに保護者の方へのお知らせをすることで、よりご参加いただけるように改善していきたい。
3	支援プログラムに沿った支援	毎朝のミーティングで、その日の活動の内容や目的を話し合い、ラインを使用して職員間で共有する事が出来ている。	活動や自由時間に個々の課題として取り組みたい内容や、個別支援計画の具体的な支援方法を一覧表として作成することで、より個々に沿った支援に繋がると思われる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	整理整頓	日頃の掃除や片づけは行っているが、物品が多いことが課題。 もう少し、物の置き場を整理し視覚的にも片付ける場所を示すなどの環境の改善が必要と思われる	おもちゃの数や、教材用具を定期的に見直し、発達に合わせた準備をすることや、絵本も全部出すのではなく、季節ごとに調整するなどの物の量の調整が必要。それに向けて、倉庫内の備品整理を改めて行い、部屋を有効活用していきたい。 また子ども達が、工作などで自由に使用して良い場所、先生に確認してから使ってもよいもの等をよりわかり易く提示したり、片付け場所をより視覚でわかりやすくするなどの環境の改善が必要と考えられる。